

## (14) 電気業

17/16 18/17 ◎ 伸び率10%以上 ● 伸び率0~▲10%  
: 天気図マーク; ○ ◎ ○ 伸び率0~10% ● 伸び率▲10%以下

### 1. 企業経営動向

#### (1) 最近の電力需要

##### ①平成17年度の需要動向

平成17年度の需要電力量は、8,826億kWh、最大需要電力は、1億7,024万kWとなった。

##### ②平成18年度の需要動向

平成18年度の需要電力量は、8,697億kWh、最大需要電力は、1億7,256万kWとなる見通しである。

#### (2) 今後の電力需給見通し

平成18年度電力供給計画によれば、平成27年度の需要電力量は、9,430億kWhとなり、最大需要電力は、1億8,690万kWとなる見通しである。

#### (3) 企業収益

##### ①平成17年度の電力会社10社の決算(単独)は、経常収支ベースで、平成7年度以来、10年振りの増収減益となった。

収入面では、平成16年10月から平成17年7月にかけて実施した電気料金引下げによる収入の減があったものの、厳冬による暖房需要の増加、景気回復に伴い産業用需要が堅調に推移したこと等により、売上高は前年度比1.1%増の、14兆8,635億円となった。

費用面では、退職給付制度改定に伴う退職給与金減による人件費の減少、既存設備の償却の進行による減価償却費の減少、金利低下や有利子負債残高減による支払利息の減少等があったものの、燃料価格の上昇に伴う燃料費の大幅な増加等により、経常費用は同2.3%増の13兆7,809億円となった。

以上の結果、電力会社10社の平成17年度経常利益は、同11.0%減の1兆1,696億円となった。

##### ②平成18年度の電力会社10社の業績予想については、売上高は対前年度比0.9%減の14兆7,250億円、経常利益は同6.8%減の1兆900億円となっている(いずれも各社公表値を集計)。

#### (4) 財 務

電力各社は経営の効率化の一環として財務体質の改善を図っているところであり、平成17年度においては、借入金の期限前弁済の実施等により、有利子負債残高は対前年度比2.8%減の、21兆9,000億円程度となっている。

## 2. 設備投資動向

### (1) これまでの設備投資の推移

電力会社10社においては、平成5年度の5兆円弱をピークとし、平成6年度以降は年々減少している。平成17年度実績見込額は、送電網の整備など主に流通工事の増加により、1兆5,294億円(対前年度比1.6%増)と増加に転じている。

### (2) 平成18年度の設備投資計画

平成18年度計画額は、電力会社10社で1兆7,075億円(対前年度比11.6%増)となっており、電源工事の増加などが見込まれることから、全体的に計画額は増加している。

## 3. 長期資金調達・運用動向

### (1) 長期資金運用動向

電気業は、調達した資金の殆どを設備資金に充当している。

### (2) 長期資金調達動向

電気業の資金調達については、電力会社10社の場合、電力自由化の進展等を踏まえ、設備投資の効率化、有利子負債の圧縮等による財務体質の強化を図っており、設備投資額を自己資金内で抑制する傾向が続いている。自己資金は減価償却費の比率が高く、外部資金については、純減の方向である。

(グラフ1：設備投資の前年比の推移)

